



# 新年のごあいさつ 「存在感のある議会」を目指して



新年あけましておめでとうございます。この冬は、温暖で、町民の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、皇太子殿下が全国育樹祭の折にご訪問された金山小学校の読み聞かせの様子を「歌会始」でお詠み下さるなど、年明け早々から明るく、町民を勇気づける出来事から一年が始まり、スキーを始めスポーツでも良い知らせが続く、さらには一年を通じ大きな災害や事故もなく金山町の九十周年にふさわしい一年ではなかったかと思えます。

町議会につきましては、改選の年であり三名の議員が交代し、新たな体制で「存在感のある議会」をスロガンに掲げ、町民の皆様から、より身近な議会、より開かれた議会と感じていただきます。議会活動に取り組んできたところでございます。今、地方では、人口減少に歯止めをかけ、地方の活性化を図るため、

「まち・ひと・しごと創生法」による総合戦略を策定し、将来のまちづくりの基本的方向を模索しております。また、TPP交渉の大筋合意を受けて、町の農業・農村を守り豊かな地域社会を次代に引継ぐことが喫緊の課題となっております。

こうした中、町では過疎債を活用した財政負担の少ない新たな企業誘致策により、町内に企業立地されるなど、雇用や定住に明るい方向性も見えており、今後の展開に期待するものでございます。

結びに、議会報告会でのご意見や、町民の皆様の声に議員一同真摯に取り組みまいりますので、町民の皆様のご指導をお願い申し上げます。元気で明るく輝ける年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十八年一月吉日

金山町議会議長 柴田清正



後列左より 高橋浩樹議員 中村忠行議員 沼澤道也議員 早坂憲明議員 高橋芳夫議員  
前列左より 栗田保則議員 寒河江宏一副議長 柴田清正議長 矢口政一議員 須藤典夫議員

## 議会活性化・常任委員会合同研修

10月28日(水)～30日(金)

常任委員会が所管する事項について識見を広め、町の課題や農業振興方策及び議会活動の活性化を図るため青森県外ヶ浜町、田子町、岩手県紫波町を視察した。

### 外ヶ浜町

(合併後の議会運営・町立病院の運営)

青森県の龍飛岬から東津軽に連なり、北海



外ヶ浜町合併後の議会運営

道新幹線の本州最北端の駅がある今別町を除き、その先にある三厩村と東津軽に位置する平館村・蟹田町が平成17年3月28日に合併した人口6728人の町。合併後の議員数は32名であったが、現在11名に定数を削減した。町立病院は、50床で医師は5名体制で救急指定も受けている。

田子町(にんにく栽培による農業振興・ケーブルテレビによる情報発信)

青森県の最南端に位置し、人口6078人にんにく日本一の町として有名。平成18年「たっこにんにく」地域団体登録認定・商標登録を行い、都内の一



田子町図書館、ケーブルテレビ施設視察

流の高級店、有名デパート、量販店などで販売している。また、ケーブルテレビを開通して町の情報発信や議会中継も行っている。

### 紫波町

(通年議会・オガールプロジェクト)

岩手県のほぼ中央、盛岡市と花巻市の中間に位置し、人口3万3

696人、議員数20人。森林資源の循環のため木造公共施設やペレットボイラーを導入。オガールプロジェクトとして官民複合施設と民間施設が県産材で建設され、役場新庁舎には町産のカラマツや杉がふんだんに使用されている。平成26年度から通年議会を導入している。



紫波町通年議会

## 県道「稲沢・下野明線」整備促進を

11月13日(金)鈴木町長と議会を代表して柴田議長が山形県最上総合支庁に出向き、阿部清総合支庁長をはじめとする建設部幹部に対し、県道「稲沢・下野明線」の整備促進の要望を行った。具体的な要望事項は次のとおり。

- ① 松の木交差点から安沢まで児童の通学路となっている区間の歩道設置
- ② 松の木交差点から稲沢交差点の区間で1車線となっている道路の2車線化
- ③ 稲沢交差点の右折用車線の新設
- ④ 冬期間の適切な除排雪



阿部清最上総合支庁長をはじめ幹部へ要望

## 区長と議員の語る会(11月24日)

農村環境改善センターで「区長と議員の語る会」が開催され、議員全員が出席して区長と意見交換を行った。松田順一区公連会長と柴田議長が挨拶をした後、議員全員が町の主要施策についての考えを述べ、活発な意見交換を行った。



活発な意見交換「区長と語る会」